

# 白井市男女共同参画に関するアンケート調査について

## 1 調査実施の目的

本調査は、性別に縛られず誰もが自分らしく輝ける市の実現のために、市民の皆様のご意見やニーズをお伺いし、男女共同参画に関する計画の見直しのための基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2 回答者の属性

項目	住民意識調査	市内在勤者調査	中学生調査
調査対象者	市内在住の満18歳以上の方 (令和6年10月1日時点) (無作為抽出)	市内在勤者 (無作為抽出)	白井市立中学校2年生
調査期間	令和6年11月15日(金) ~12月6日(金)		令和6年12月13日(金) ~12月21日(土)
調査方法	郵送配布・郵送回収、 及びWEBによる本人回答方式		WEBによる 本人回答方式
配布数	2,000件	500件	655件
有効回収数	950件	230件	531件
有効回収率	47.5%	46.0%	81.1%

※以降のページでは、住民意識調査を「市民」もしくは「市民調査」、市内在勤者調査を「市内在勤者」、中学生調査では「中学生」等と省略している場合があります。

### 3 調査結果概要

#### ①家庭生活について

- ・家庭における男女の役割分担について、市民調査、市内在勤者調査ともに、理想は「男性女性が共に働き、家事全般も男性女性が共にする」が53.4%（市民）、59.6%（市内在勤者）と最も高いものの、現実では「男性女性が共に働き、家事全般は主として女性がする」が37.5%（市民）、53.0%（市内在勤者）と最も高くなっています。【報告書 市民：7ページ、市内在勤者：99ページ】

#### A 理想は（1つに○）

##### 【市民】

単位：%	全男性が働き、女性が家事	全女性が働き、男性が家事	する事男性全般は主として女性が家	する事男性全般は主として働き、男性が家	する事男性全般も男性女性が共に働き、家に	人が何でも決めず、できる	わからない	不明・無回答
全体(n=950)	9.3	-	3.4	0.3	53.4	28.2	2.4	3.1

##### 【市内在勤者】

単位：%	全男性が働き、女性が家事	全女性が働き、男性が家事	する事男性全般は主として女性が家	する事男性全般は主として働き、男性が家	する事男性全般も男性女性が共に働き、家に	人が何でも決めず、できる	わからない	不明・無回答
全体(n=230)	8.7	0.4	4.8	0.9	59.6	23.5	2.2	-

#### B 現実（1つに○）

##### 【市民】

単位：%	全男性が働き、女性が家事	全女性が働き、男性が家事	する事男性全般は主として女性が家	する事男性全般は主として働き、男性が家	する事男性全般も男性女性が共に働き、家に	人が何でも決めず、できる	わからない	不明・無回答
全体(n=950)	24.2	0.3	37.5	0.2	14.9	12.5	6.0	4.3

##### 【市内在勤者】

単位：%	全男性が働き、女性が家事	全女性が働き、男性が家事	する事男性全般は主として女性が家	する事男性全般は主として働き、男性が家	する事男性全般も男性女性が共に働き、家に	人が何でも決めず、できる	わからない	不明・無回答
全体(n=230)	8.7	-	53.0	3.5	18.3	13.9	2.2	0.4

## ②仕事について

・1日に家庭内の家事（育児・介護を含む）をどのくらい担っているかについて、市民調査、市内在勤者調査ともに、【平日】【休日】に関わらず、男性に比べ女性で家事の負担が多くなっています。一方、【平日】の男性については、前回調査では「していない、ほとんどしていない」が最も高くなっていましたが、今回調査では減少しており、男性の家事等への参加が進んでいる状況が見られます。

### B 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【平日】（1つに○）

【市民】

単位：%		8時間以上	6〜7時間くらい	4〜5時間くらい	2〜3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体(n=230)		4.3	4.8	16.5	24.8	26.5	13.5	9.6	-
女性	女性全体(n=117)	6.0	6.8	28.2	33.3	20.5	3.4	1.7	-
	29歳以下(n=10)	-	-	-	30.0	40.0	20.0	10.0	-
	30歳代(n=23)	8.7	17.4	39.1	13.0	17.4	4.3	-	-
	40歳代(n=38)	2.6	7.9	21.1	44.7	21.1	-	2.6	-
	50歳代(n=31)	6.5	3.2	38.7	32.3	19.4	-	-	-
60歳以上(n=13)	15.4	-	30.8	38.5	15.4	-	-	-	
男性	男性全体(n=103)	1.9	1.9	2.9	17.5	34.0	24.3	17.5	-
	29歳以下(n=9)	-	-	-	11.1	33.3	55.6	-	-
	30歳代(n=18)	-	5.6	5.6	27.8	16.7	33.3	11.1	-
	40歳代(n=31)	-	3.2	3.2	22.6	38.7	12.9	19.4	-
	50歳代(n=28)	3.6	-	-	10.7	39.3	25.0	21.4	-
60歳以上(n=15)	6.7	-	6.7	13.3	33.3	20.0	20.0	-	

※経年比較（平成28年）

単位：%		8時間以上	6〜7時間くらい	4〜5時間くらい	2〜3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体	令和6(2024)年(n=230)	4.3	4.8	16.5	24.8	26.5	13.5	9.6	-
	平成28(2014)年(n=173)	1.7	5.2	10.4	24.3	19.7	12.7	22.0	4.0
女性	令和6(2024)年(n=117)	6.0	6.8	28.2	33.3	20.5	3.4	1.7	-
	平成28(2014)年(n=92)	2.2	9.8	17.4	38.0	16.0	6.5	8.7	1.1
男性	令和6(2024)年(n=103)	1.9	1.9	2.9	17.5	34.0	24.3	17.5	-
	平成28(2014)年(n=79)	1.3	-	2.5	7.6	22.8	20.3	38.0	7.8

※「30分未満」「15分くらい」を、今回調査では「30分未満」とした。

【在勤者】

単位：%		8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体(n=230)		4.3	4.8	16.5	24.8	26.5	13.5	9.6	-
女性	女性全体(n=117)	6.0	6.8	28.2	33.3	20.5	3.4	1.7	-
	29歳以下(n=10)	-	-	-	30.0	40.0	20.0	10.0	-
	30歳代(n=23)	8.7	17.4	39.1	13.0	17.4	4.3	-	-
	40歳代(n=38)	2.6	7.9	21.1	44.7	21.1	-	2.6	-
	50歳代(n=31)	6.5	3.2	38.7	32.3	19.4	-	-	-
	60歳以上(n=13)	15.4	-	30.8	38.5	15.4	-	-	-
男性	男性全体(n=103)	1.9	1.9	2.9	17.5	34.0	24.3	17.5	-
	29歳以下(n=9)	-	-	-	11.1	33.3	55.6	-	-
	30歳代(n=18)	-	5.6	5.6	27.8	16.7	33.3	11.1	-
	40歳代(n=31)	-	3.2	3.2	22.6	38.7	12.9	19.4	-
	50歳代(n=28)	3.6	-	-	10.7	39.3	25.0	21.4	-
	60歳以上(n=15)	6.7	-	6.7	13.3	33.3	20.0	20.0	-

※経年比較（平成28年）

単位：%		8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体	令和6(2024)年(n=230)	4.3	4.8	16.5	24.8	26.5	13.5	9.6	-
	平成28(2014)年(n=173)	1.7	5.2	10.4	24.3	19.7	12.7	22.0	4.0
女性	令和6(2024)年(n=117)	6.0	6.8	28.2	33.3	20.5	3.4	1.7	-
	平成28(2014)年(n=92)	2.2	9.8	17.4	38.0	16.0	6.5	8.7	1.1
男性	令和6(2024)年(n=103)	1.9	1.9	2.9	17.5	34.0	24.3	17.5	-
	平成28(2014)年(n=79)	1.3	-	2.5	7.6	22.8	20.3	38.0	7.8

※「30分未満」「15分くらい」を、今回調査では「30分未満」とした。

C 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【休日】（1つに○）

【市民】

単位：%		8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体(n=950)		9.5	5.6	14.5	22.6	13.8	7.8	11.4	14.8
女性	女性全体(n=497)	12.5	8.9	21.3	24.3	7.0	4.2	7.2	14.5
	29歳以下(n=39)	10.3	-	7.7	5.1	12.8	23.1	35.9	5.1
	30歳代(n=34)	41.2	8.8	11.8	23.5	2.9	2.9	8.8	-
	40歳代(n=88)	25.0	9.1	27.3	26.1	6.8	3.4	1.1	1.1
	50歳代(n=99)	7.1	20.2	25.3	28.3	10.1	2.0	4.0	3.0
	60歳代(n=84)	6.0	10.7	23.8	33.3	6.0	4.8	4.8	10.7
	70歳以上(n=145)	5.5	2.8	19.3	21.4	4.8	0.7	6.9	38.6
男性	男性全体(n=422)	6.4	1.4	6.9	21.8	22.3	12.3	15.9	13.0
	29歳以下(n=30)	6.7	-	3.3	6.7	20.0	23.3	40.0	-
	30歳代(n=38)	26.3	7.9	7.9	18.4	21.1	7.9	10.5	-
	40歳代(n=68)	8.8	1.5	11.8	36.8	25.0	4.4	10.3	1.5
	50歳代(n=80)	5.0	-	10.0	27.5	28.7	15.0	11.3	2.5
	60歳代(n=69)	1.4	2.9	2.9	24.6	23.2	20.3	17.4	7.2
	70歳以上(n=126)	2.4	-	4.0	14.3	15.9	9.5	18.3	35.7

※経年比較（平成28年）

単位：%		8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体	令和6(2024)年(n=950)	9.5	5.6	14.5	22.6	13.8	7.8	11.4	14.8
	平成28(2014)年(n=898)	11.2	7.3	14.5	22.5	11.4	9.0	9.6	14.5
女性	令和6(2024)年(n=497)	12.5	8.9	21.3	24.3	7.0	4.2	7.2	14.5
	平成28(2014)年(n=495)	17.6	11.9	20.2	24.0	5.5	2.0	4.4	14.3
男性	令和6(2024)年(n=422)	6.4	1.4	6.9	21.8	22.3	12.3	15.9	13.0
	平成28(2014)年(n=378)	3.2	1.6	7.4	21.4	19.0	18.0	16.7	12.7

※前回調査では「30分くらい」「15分くらい」となっていた選択肢を、今回調査では「30分未満」とした。

【在勤者】

単位：%		8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体(n=230)		15.2	13.0	15.7	25.7	14.3	8.3	7.8	-
女性	女性全体(n=117)	22.2	17.1	24.8	24.8	7.7	1.7	1.7	-
	29歳以下(n=10)	-	-	-	70.0	10.0	10.0	10.0	-
	30歳代(n=23)	47.8	13.0	13.0	17.4	8.7	-	-	-
	40歳代(n=38)	18.4	18.4	31.6	21.1	7.9	-	2.6	-
	50歳代(n=31)	19.4	25.8	22.6	22.6	9.7	-	-	-
	60歳以上(n=13)	15.4	15.4	46.2	23.1	-	-	-	-
男性	男性全体(n=103)	6.8	9.7	4.9	28.2	21.4	14.6	14.6	-
	29歳以下(n=9)	-	-	11.1	33.3	44.4	11.1	-	-
	30歳代(n=18)	22.2	16.7	-	22.2	16.7	11.1	11.1	-
	40歳代(n=31)	3.2	9.7	9.7	41.9	12.9	6.5	16.1	-
	50歳代(n=28)	-	7.1	3.6	21.4	21.4	28.6	17.9	-
	60歳以上(n=15)	13.3	13.3	-	13.3	33.3	6.7	20.0	-

※経年比較（平成28年）

単位：%		8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	なしていない、ほとんどし	不明・無回答
全体	令和6(2024)年(n=230)	15.2	13.0	15.7	25.7	14.3	8.3	7.8	-
	平成28(2014)年(n=173)	12.1	6.9	20.8	24.9	12.7	12.1	6.4	4.0
女性	令和6(2024)年(n=117)	22.2	17.1	24.8	24.8	7.7	1.7	1.7	-
	平成28(2014)年(n=92)	18.5	12.0	29.3	25.0	4.3	6.5	2.2	2.2
男性	令和6(2024)年(n=103)	6.8	9.7	4.9	28.2	21.4	14.6	14.6	-
	平成28(2014)年(n=79)	5.1	1.3	11.4	22.8	22.8	20.0	11.4	6.3

※前回調査では「30分くらい」「15分くらい」となっていた選択肢を、今回調査では「30分未満」とした。

・育児や介護があっても仕事を継続できるようにするために必要なことについて、市民調査、市内在勤者調査ともに、「育児や介護との両立について、職場内の同僚・上司の理解が得やすいこと」が72.9%（市民）、85.2%（市内在勤者）と最も高くなっています。【報告書 市民：23 ページ、市内在勤者：109 ページ】

【市民】

単位：%	育児や介護のとき、家族の理解を得やすいこと	育児や介護との両立について、職場内の同僚・上司の理解を得やすいこと	配属や仕事の内容に他の従業員と差を設けないこと	待遇（給与、昇進）に他の従業員と差がないようにする	育児・介護を行う社員の雇用数や採用数を同等にする	保育・介護施設や保育・介護制度が充実していること	一人に任せられないよう、病人や高齢者の世話が家族の助けになること	出産や育児、介護を機に家族の働き方を変えること	育児休業や介護休業等が取りやすいこと	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=950)	71.3	72.9	20.6	31.6	25.1	66.8	56.3	41.2	66.0	3.2	5.1	1.4

【市内在勤者】

単位：%	育児や介護のとき、家族の理解を得やすいこと	育児や介護との両立について、職場内の同僚・上司の理解を得やすいこと	配属や仕事の内容に他の従業員と差を設けないこと	待遇（給与、昇進）に他の従業員と差がないようにする	育児・介護を行う社員の雇用数や採用数を同等にする	保育・介護施設や保育・介護制度が充実していること	一人に任せられないよう、病人や高齢者の世話が家族の助けになること	出産や育児、介護を機に家族の働き方を変えること	育児休業や介護休業等が取りやすいこと	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=230)	75.2	85.2	19.1	35.7	22.6	66.5	54.8	45.2	63.9	7.0	1.3	-

### ③ワーク・ライフ・バランスについて

・生活の中における仕事・家事・プライベートな時間の優先度について、市民調査、市内在勤者調査ともに、理想は「仕事・家事・プライベートを両立」が49.8%（市民）、59.6%（市内在勤者）と最も高いものの、現実には12.1%（市民）、14.3%（市内在勤者）と大きく乖離しています。【報告書 市民：24 ページ、市内在勤者：110 ページ】

#### A 理想は（1つに○）

##### 【市民】

単位：%	仕事優先	家事優先	プライベートな時間優先	仕事と家事優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	わからない	不明・無回答
全体(n=614)	2.8	1.8	16.6	6.2	12.4	6.7	49.8	2.1	1.6

##### 【在勤者】

単位：%	仕事優先	家事優先	プライベートな時間優先	仕事と家事優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	わからない	不明・無回答
全体(n=230)	3.0	2.2	12.2	2.6	8.3	9.1	59.6	2.2	0.9

#### B 現実（1つに○）

##### 【市民】

単位：%	仕事優先	家事優先	プライベートな時間優先	仕事と家事優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	わからない	不明・無回答
全体(n=614)	35.2	5.2	2.4	24.3	10.1	3.7	12.1	4.1	2.9

##### 【在勤者】

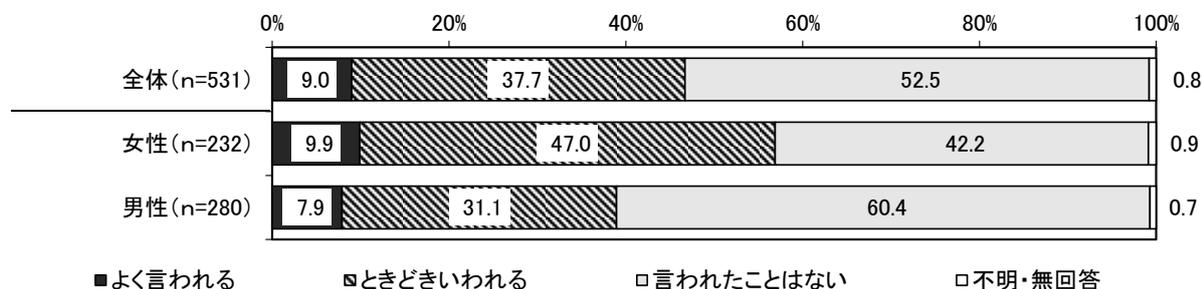
単位：%	仕事優先	家事優先	プライベートな時間優先	仕事と家事優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	わからない	不明・無回答
全体(n=230)	39.1	0.4	0.4	27.8	13.5	1.7	14.3	1.7	0.9

#### ④男女共同参画に関する意識について

- ・男女共同参画に関する言葉の認知度について、市民調査では〈リプロダクティブ・ヘルス/ライツ〉〈ポジティブ・アクション〉〈アンコンシャス・バイアス〉〈デートDV〉で「知らない」がいずれも半数以上となっています。また、年代が上がるにつれて〈ジェンダー〉〈ワーク・ライフ・バランス〉〈ポジティブ・アクション〉〈デートDV〉で「知らない」の割合が高い傾向にあります。中学生調査では〈男女共同参画社会〉〈ワーク・ライフ・バランス〉〈アンコンシャス・バイアス〉で「知らない」がいずれも3割以上と高くなっています。【報告書 市民：41 ページ】

#### ※グラフ省略

- ・アンコンシャス・バイアスの経験（今までに「女の子だから～しなさい（しちゃダメ）」「男の子だから～しなさい（しちゃダメ）」と言われた経験）について、中学生調査では「言われたことはない」が52.5%と最も高く、次いで「ときどきいわれる」が37.7%、「よく言われる」が9.0%となっています。どんなことについて言われたかについては、「言葉づかい」が41.1%と最も高く、次いで「座り方や歩き方」が39.9%、「着ている服や髪型、身だしなみ」が38.7%となっています。【報告書 中学生：184 ページ】



### ⑤ハラスメント・DVについて

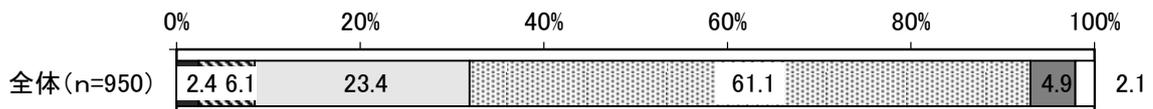
・配偶者や恋人等パートナーからのDV（身体的暴力、精神的暴力、性的強要、経済的圧迫）の状況について、市民調査では「したことがある」「されたことがある」「したことも、されたことも両方ある」経験のある方はいずれも1割前後となっています。また、そのことについて「どこ（だれ）にも相談しなかった」が53.4%と半数以上となっています。【報告書 市民：59 ページ】

※グラフ省略

### ⑥性別や生殖に関する健康・権利について

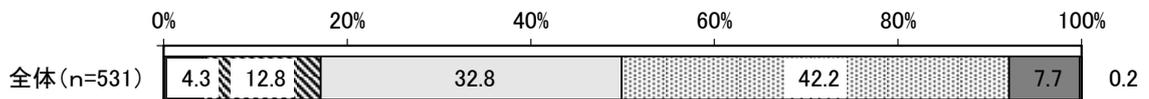
・身体の性別や心の性について悩んだ経験について、市民意識調査・中学生調査では「ほとんどない」が23.4%（市民）、32.8%（中学生）となっており、「多少ある」が6.1%（市民）、12.8%（中学生）となっています。【報告書 市民：69 ページ、中学生：195 ページ】

【市民】



■ある □多少ある □ほとんどない □まったくない(一度もない) ■わからない(どちらとも言えない) □不明・無回答

【中学生】



■ある □多少ある □ほとんどない □まったくない(一度もない) ■わからない(どちらとも言えない) □不明・無回答

・性や妊娠・出産に関して女性自身で決めるうえで特に必要だと思うことについて、市民調査では「子どもの成長と発育に応じた男女平等に基づく性教育・人権教育」が50.9%と最も高くなっています。【報告書 市民：70 ページ】

単位：%	子どもにも基づく長性と教育・人権教育に合わせた男女	性や妊娠・出産に関する情報提供	喫煙や薬物の使用、男性の健康への害	情報提供（相談）	クレンジング剤の使用	性感症、HIV、カンジダ症、性感染症	体年期の充実	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=950)	50.9	45.9	15.3	14.6	18.9	1.9	16.9	2.1		

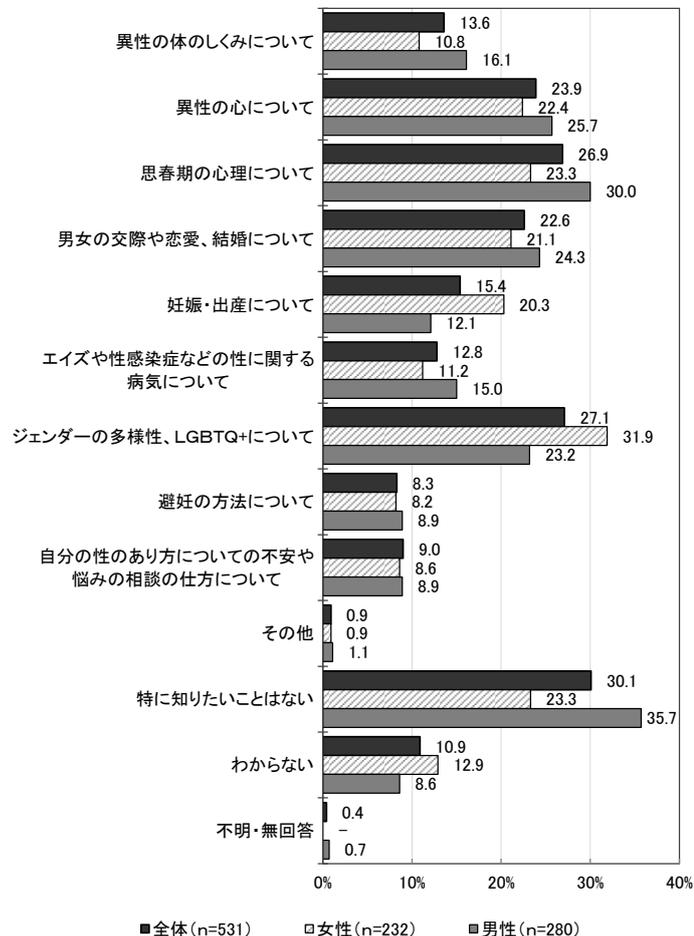
### ⑦子育てや小中学校での教育について

・学校教育の中で男女平等の意識を深めるために特に大切だと思うことについて、中学生調査では「男性女性が共に、身の回りのことが自分でできるよう学べる機会を設ける」が53.6%と最も高くなっています。また、体や心について学んでいきたいことについて、中学生調査では「特に知りたいことはない」が30.1%と最も高く、次いで「ジェンダーの多様性、LGBTQ+について」が27.1%、「思春期の心理について」が26.9%となっており、特に男性は女性に比べて「特に知りたいことはない」が高くなっています。【報告書 市民：71 ページ、中学生：198 ページ】

#### 【市民】

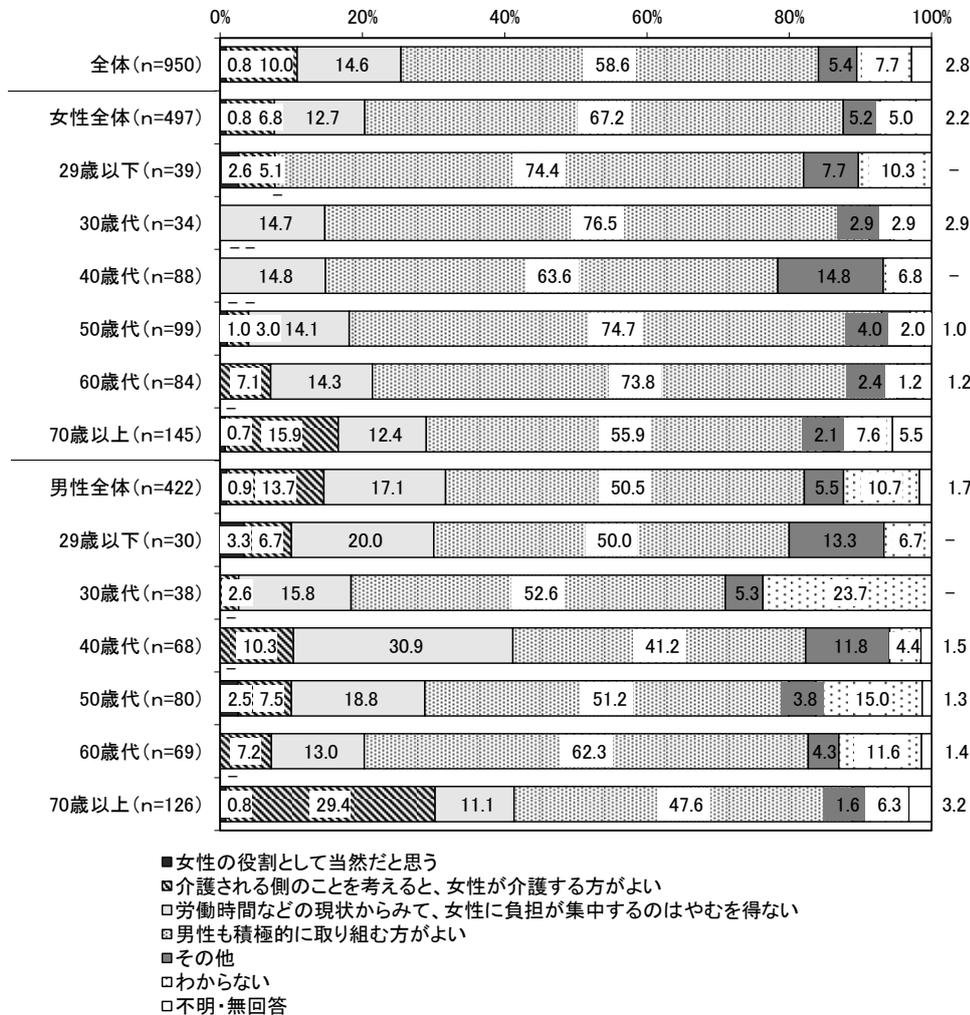
単位：%	会と男性が自分ができるように、身の回りの機会を設ける	男性が女性と共に、職業訓練や自立指導を受けられるよう進めよう	男性が女性と共に、経済的に自立できるように理解がすすむ	相手への教育をわかりやすく理解がすすむ	性差別や人種差別などに問題意識を持たせる	性差別や人種差別などに問題意識を持たせる	国際交流や交換留学を奨励し、他国の事例や価値観を学ぶ	教職員への男女平等研修を充実	保護者や講演会を通して、深めよう	その他	今のままでよい	わからない	不明・無回答
全体 (n=950)	53.6	40.8	45.5	36.2	18.0	16.7	10.9	1.9	1.8	7.1	2.7		

#### 【中学生】

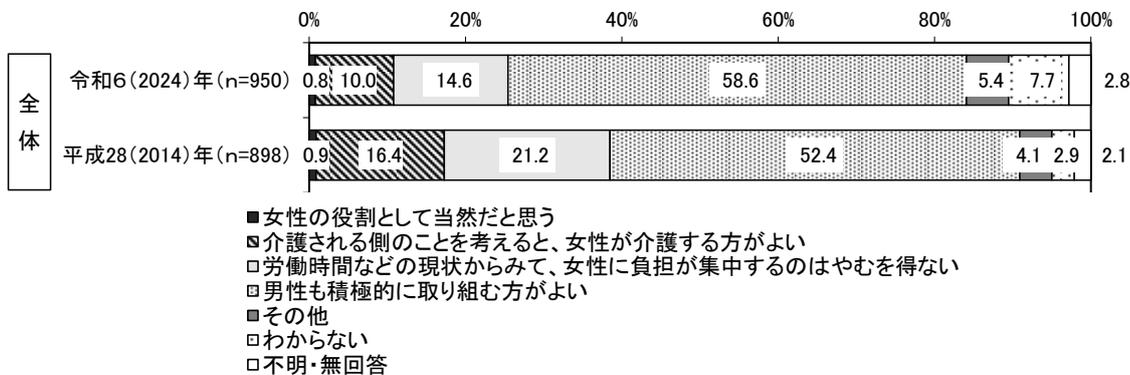


## ⑧介護について

- ・介護が女性の役割になりがちなことについて、市民調査では男女ともに「男性も積極的に取り組む方がよい」が最も高く、特に女性で67.2%、男性で50.5%と、女性の割合が高くなっています。また、前回調査と比較すると「男性も積極的に取り組む方がよい」が6.2ポイント高くなっています。【報告書 市民：75 ページ】



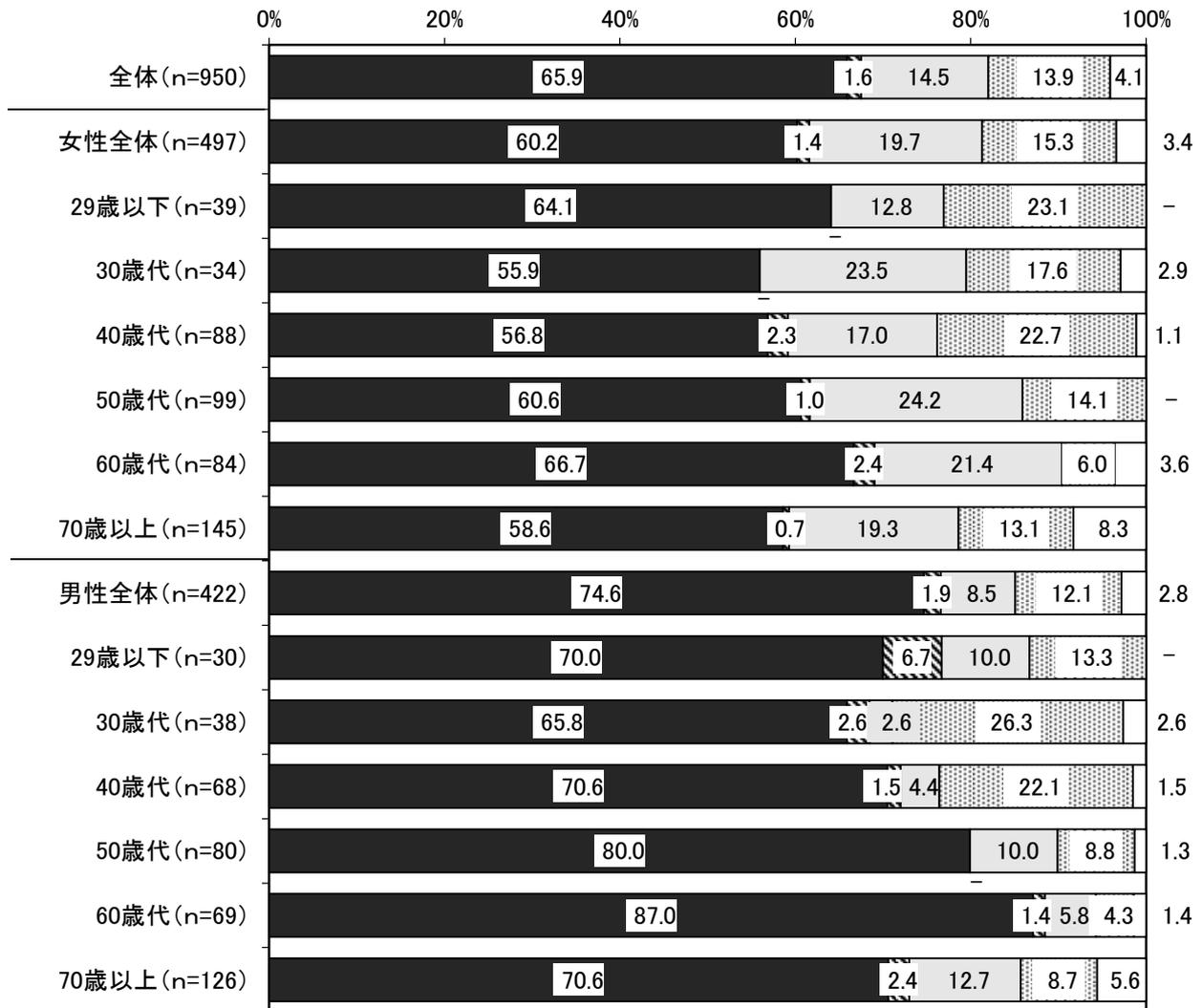
### ※経年比較（平成28年）



### ⑨地域活動や防災について

・地域活動に女性がリーダーとして参画することについて、市民調査では男女ともに「女性も積極的に参画するほうがよい」が最も高く、女性で60.2%、男性で74.6%となっています。また、女性は男性に比べて「女性が参画することには賛成だが、現実には難しい」が高くなっています。

【報告書 市民：80 ページ】



- 女性も積極的に参画するほうがよい
- 女性が参画することには賛成だが、現実には難しい
- 不明・無回答
- 男性に任せたほうがよい
- わからない